

苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 2 回 定例委員会
日 時	令和2年2月7日 自 14時00分 至 15時33分
場 所	第2庁舎2階北会議室
出 席 委 員	教 育 長 五十嵐 充 委 員 佐 藤 郁 子 委 員 植 木 忠 夫 委 員 岡 田 秀 樹
欠 席 委 員	委 員 齋 藤 智 子
会議録署名委員	植 木 忠 夫 委員
会議録作成職員	総務企画課主任主事 武 曾 真 弓
事 務 局 職 員	教 育 部 長 瀬 能 仁 教 育 部 次 長 山 口 朋 史 教 育 部 次 長 山 地 吉 明 教 育 部 参 事 丹 野 靖 彦 教 育 部 参 事 前 田 辰 夫 総 務 企 画 課 長 齋 藤 貴 志 学 校 教 育 課 長 阿 部 秀 明 生 涯 学 習 課 長 白 川 典 之 第 1 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長 杉 本 貴 浩 第 2 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長 宮 嶋 和 久 科 学 セ ン タ ー 副 館 長 松 本 誠 美 術 博 物 館 副 館 長 長 谷 川 文 作 施 設 課 長 補 佐 三 橋 大 輔 総 務 企 画 課 主 査 前 田 亜 矢 子 総 務 企 画 課 主 任 主 事 武 曾 真 弓
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（五十嵐教育長）	・・・14時00分
2 会議録署名委員の指名（植木忠夫委員）	
3 会議録の承認	
（五十嵐教育長） 第1回定例教育委員会（令和2年1月24日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。	
（一同「はい」の声）	
-会議録どおり承認-	
4 教育長の報告	
（五十嵐教育長） 令和2年第1回定例教育委員会議が1月24日に開かれてから、2週間が経過したところですが、今日は、令和2年度の教育行政執行方針等について市議会開会前にご審議いただくため、このタイミングでお集まりいただきました。	
始めに、インフルエンザの直近の状況です。2月6日の時点では、中学校の学級閉鎖はありませんが、小学校の学級閉鎖は5校16学級となっています。苫小牧保健所管内のインフルエンザ警報は1月31日に解除されましたが、昨日の校長会議では、新型コロナウイルス対策も含め、感染予防のために手洗い・うがいの徹底をお願いしております。	
次に、行事に関してですが、1月25日には市役所の議場でこども議会が開かれました。主催は市のこども支援課ですが、小中学校の児童生徒が政策を提案し、市長や	

関係部課の管理職に質問をしたり答弁をしたりするもので、私も傍聴してきました。

18人のこども議員が3つの政党に分かれて政策提言を行いました。中には、政策提言にとどまらず財源の確保策を示すグループもあり、感心いたしました。参加した子供たちには、これからも自分の住むまちを暮らしやすいまちにするためにはどうしたら良いのかということ、それぞれの成長段階においてずっと考え続けてほしいと思います。

1月29日には、学校保健会研究大会が教育センターで開催されました。苫小牧市医師会、歯科医師会及び薬剤師会が構成団体となっている養護教諭の研究大会です。

苫小牧市立拓進小学校の保坂教諭から研究提言を、苫小牧保健所の羽田主任技師から「幼児期・学齢期の歯科保健」と題して講演をいただきました。私からは、一部の家庭で基本的な生活習慣の定着が図られていない実態がある中で、養護教諭の果たす役割はますます大きくなること、そして研究大会の成果を今後の教育活動に生かしてほしいと挨拶しております。

2月1日から2日まで、第54回とまこまいスケートまつりが若草中央公園で開催されました。雪が少なく暖かい中で、準備にあたった関係者は相当苦勞をされたようですが、子供たちは会場につくられた氷の滑り台で元気に滑っていました。佐藤委員と1日の開会式に出席し、その後、しばれ焼きを堪能させていただきました。久しぶりに食べたしばれ焼きの味は、格別でした。

2月3日には、生活協同組合コープさっぽろから、新入学児童のランドセルカバーを1,600枚寄贈していただき、感謝状を贈らせていただきました。これまでは、希望する小学校に個別に寄贈していただいておりますが、今回から市内全小学校に配布されることになりました。子供たちの通学時の安全確保に効果があるものと期待しております。

昨日、2月6日には定例校長会議が開かれました。私から、学校管理職の人事異動に関して、市内で校長退職者が10人と多く、これに伴う異動では市外からの転入者も多くなることが予想されるため、学校経営の基本的な部分について、後任者へスムー

ズに引き継ぐことは大事なことです、これに加えて、業務の見直しを進めて働き方改革につなげていくことも心掛けてほしい旨を伝えるとともに、学校現場と市教委との間で更なる情報の共有化が必要であることについても話をしております。

本日は、ご審議いただく案件が多く予定されておりますが、よろしくお願い申し上げます。

報告は以上ですが、何かご質問等ございませんか。

(一同「なし」の声)

5 議 案

第1号 令和2年度教育行政執行方針について

(教育部長) -令和2年度教育行政執行方針について説明-

(五十嵐教育長) 前回、皆様からお話のあった点については、訂正なり修正なりをしたところですが、更にお気づきの点などがあればお願いいたします。

(植木委員) 市教委が苦小牧オール9と掲げて教育を推進しようという中に、一貫教育は念頭にないということでしょうか。今回はこれでいいと思うのですが、今後、校長会と話し合いを進める中で、一貫教育も本市の教育の中に意図して進めていくという観点があるのかどうか、お聞かせください。

(教育部参事) 今後、苦小牧オール9の推進方針を定めて、連携や一貫の在り方について小・中学校校長会等にご意見をいただいて進めながら、同時に整理をしていきたいと考えているところでございます。

(植木委員) わかりました。

(五十嵐教育長) その他、ございますか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、議案第1号は原案どおり決定いたしました。

第2号 令和元年度教育費補正予算について

(教育部次長) -令和元年度教育費補正予算について説明-

(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(植木委員) 教育扶助費について、人口減少対策や子育て推進等ということで、大変喜ばしいことだと思えますが、この予算で想定している児童生徒数は大体何人くらいなのか、はっきりとは答えられないと思えますが、仮に人数が想定以上になった場合は、補正予算を組むということでしょうか。

(教育部次長) これまでの実績等に基づいて予算の数字を出すのですが、仮にその数字を超えるような見込みになった場合は、補正予算で対応させていただくことになります。

(植木委員) わかりました、ありがとうございます。

(五十嵐教育長) その他、ございませんか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(五十嵐教育長) それでは、議案第2号は原案どおり決定いたしました。
第3号 令和2年度教育費予算について
(教育部次長) -令和2年度教育費予算について説明-
(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(植木委員) 主要事業概要のところでお聞きいたします。1点目は、15ページの外国語教育推進事業について、ALTが増員されるということで嬉しいことだと思いますが、ALTの1人当たりの人件費はどれくらいでしょうか。また、経験者の方も初めて赴任される方も待遇面は一緒なのか、それとも年数が経つと改善されていくのでしょうか。
2点目は、17ページのスクールソーシャルワーカー(SSW)活用事業について、令和2年度の予算額が増えていますが、これは人員を増やすということなのでしょうか。
3点目は、19ページの校務用パソコン整備事業について、先生方もパソコン1人1台化という事業が始まって、以前は情報流出やUSBメモリを紛失した等、事故が散見されたのですが、最近の対応についてはどのようになっているのでしょうか。また、ウイルス等の感染に関する対応はどうしているのか、教えていただきたいと思えます。

<p>(教育部参事) 1点目のALTについて、年間1人当たり320万円程度の人件費を計上しております。初年度のALTで26万7,000円程度の月額報酬で、年数が経つと少しずつ上がるシステムになっていますので、5年経過すると28万円程度と改善してまいります。</p>
<p>2点目のSSWにつきましては、増員となります。その理由としては、不登校等の増加傾向や、それに伴って家庭で教育方法やお子さんの養育について悩みを抱えている方が増えて、相談件数が増加していることによるものでございます。</p>
<p>(植木委員) 具体的には、何名の増員ですか。</p>
<p>(教育部参事) 1名です。</p>
<p>(総務企画課長) 3点目の校務用パソコン整備事業に関して、学校の先生方の事務の軽減とともに個人情報の漏洩を防ぐことを大きな目標としております。導入以前は、個人のパソコンやUSBメモリによる紛失事故が本市でも何件かあって、非常に危うい状態であったのは事実です。そういったことの対策として、校務支援システムを導入した経緯がございます。現在は個人のUSBメモリの使用を禁止しておりますし、ネットワークセキュリティにも万全を期しておりますので、導入以後は個人情報に関する事故は起きておりません。パソコン自体に個人情報を保存しないように、データセンターで一括管理しており、個人情報についての運用の向上は達成されている状況です。</p>
<p>(佐藤委員) 20ページの学習用ICT環境整備事業のところで、コンピュータ教室のタブレットを整備することについてですが、高校や大学でもタブレット1人1台の対応をして授業をしている状態になってきていますので、慣れていくのは必要なことだと思うのですが、タブレットも機能によって値段が変わる等、どんどん新しくなりますので、サーバホスティングで6年間をみているようですが、それとは別に、タブレットとしてどの程度の機能のものを考えていらっしゃるのか、それによって、文部科学省で推進しているものとの差があるということで、各学校もいろいろと調べて決めているようなのですが、大体どの程度のものを考えていらっしゃるのか教えて</p>

いただければと思います。

(総務企画課長) タブレットについては、1校につき1クラス分ということで40台を既に導入しております。計上している予算は、維持管理していくためのもので、新しく導入するというものではありません。性能につきましては、一般的に学校用として推奨されている、落としても壊れないような丈夫さなど標準的な機能を持ったもので、あまり安価なものではないのですが、標準程度のものとなっております。1人1台というお話がありましたが、国のGIGAスクール構想というもので、小中学校も全校で1人1台ずつという話が出てきてはいますが、本市としては、元々パソコン教室にあったデスクトップをタブレットに更新したというところで、その後はこれから検討していくという状況です。比較的安価なタブレットが出てくるという話も伺っているところですが、そういった中で増やしていくかどうかを、これから検討することとなります。

(佐藤委員) わかりました。

(五十嵐教育長) その他、ございませんか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、議案第3号は原案どおり決定いたしました。

第4号 苫小牧市小・中学校施設整備計画について

(施設課長補佐) -苫小牧市小・中学校施設整備計画について説明-

(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、議案第4号は原案どおり決定いたしました。

第5号 苫小牧市学校運営協議会規則の制定について

(学校教育課長) -苫小牧市学校運営協議会規則の制定について説明-

(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(植木委員) この資料が届いた時に、「この規則は、令和2年4月1日から施行する」とあったので、全校ですぐに始めるのかと思っていましたが、今の説明でわかりました。コミュニティ・スクールを試行している勇払地区と開成地区で実施するということなのですね。今後、国が義務化していく可能性があるということでしたので、かつての学校評議員制度と似ているなど思っているのですが、本市において、各小中学校に順次設置していく予定なのかということが1つと、学校評議員制度は教育基本法に基づいて設置していて、私の記憶では20年ほど前の福島教育長の頃に導入して、

モデル校何校かで実施してから市内全校へという経緯がありましたので、恐らく学校運営協議会もそうなるのかなと思いますが、学校評議員制度との関係はどのように考えていくのでしょうか。学校評議員を学校運営協議会に組み込むのか、勇払地区は組み込んでいますが、今後もそのような形を取るのかどうかお聞きしたいです。また、学校評議員は、交通費的な要素と何かあった時のために、少しですが年間で幾らかお金が支給されているはずですが。学校運営協議会に任命された方々の身分や待遇は、今後どうなるのかを教えてくださいたいと思います。

(学校教育課長) 今後の導入の計画とも関係してくると思いますが、義務化となりますと、全校一斉に導入ということで、1中2小になるのか、各校それぞれになるのかという辺りについて今後検討が必要になると思います。今回、規則の制定により、いわゆる手上げ方式と言いますか、地域でコミュニティ・スクールをやりたいという要望があった場合には順次対応できるように体制を整備するものと考えております。

学校評議員制度との関係ですが、現在モデル校として実施している2つの地区につきましては、学校評議員の方が元学校評議員という立場で委員に入っておりますので、学校運営協議会を立ち上げて本格導入となった場合には、同様の形態で評議員の方に入ってもらおうといったことが考えられると想定しております。待遇につきましては、学校評議員の方には現在月額1,000円の報酬が支払われているのですが、学校運営協議会の場合は、会議1回あたり2,000円という報酬を考えているところです。

(植木委員) わかりました。ありがとうございます。

もう1つ、会長になるのは校長ではないのでしょうか。組織の中で、校長はどのような立場になるのでしょうか。

(学校教育課長) 学校運営協議会となるため、学校の運営方針を地域の方とともに考えていくという立場になりますので、校長先生は学校運営協議会委員という立場ではなく、事務局の方に入っていただくということを想定しております。

(植木委員) わかりました。

次に、組織の中に学識経験者というのがありますが、将来的に全部の地域に導入し

た場合、全部の地域に学識経験者がいれば良いのですが、どのような方を想定しているのかを教えてくださいたいと思います。本市は大学が沢山ある訳ではないので、どのように考えていらっしゃるのかを教えてください。

(学校教育課長) 現在の実績でいいますと、例えば勇払地区は、勇払の幼稚園関係の方が入っていらっしゃいます。広く子供たちの教育に明るい方と位置づけられるものと考えています。

(植木委員) そうすると、元校長ということもあり得るということですか。幼稚園の園長は元校長がやっているケースが多いので。

(学校教育課長) 可能性としてはあり得ると思います。

(植木委員) わかりました。

(五十嵐教育長) その他、ございませんか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、議案第5号は原案どおり決定いたしました。

第6号 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の公表について

(教育部参事) -令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の公表に

<p>ついて説明-</p>
<p>(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。</p>
<p>(植木委員) 今年度の小学生は好成績で喜ばしいのですが、中学生になると全てにおいて停滞している感じがいたします。参事のお話にあったように、中学生は部活動があつて、もう少し伸びてもいいのかなという思いがあるのですが、小学校と中学校の乖離は指導室としてどのように押さえていらっしゃるのでしょうか。5年生については、全国平均も上回つてかなりの好成績ですよ。それが中学生になると停滞しているというのは、いろいろな要素が絡んでくるのですが、その最たる理由をどのように押さえているのか教えてください。</p>
<p>(教育部参事) 理由は大きく2つあると考えております。1つは、本市は全国に比べて部活動の加入率は低くないのですが、部活動全体における運動部の加入率は、全国に比べて低い状況でございます。本市では文科系の部活動が盛んな傾向がございます。それが原因となっているかどうかはわかりませんが、そういった傾向がございます。もう1つ、小学校で高い結果であつたのがなぜ急激に下がるのかについてですが、考えられる原因としまして、全国でも中学校の方が下がるのですが、この傾向としましては、小学校は学級担任制であり、休み時間や放課後や朝の時間といった様々な時間を通じて体力を増強する活動を、学校で取り組むことができる状況でございます。例えば、小学校の校内で休み時間にできる反復横跳びコーナーをつくるなど、担任と一緒に活動するということができますが、中学校は基本的に体育の授業の中での取組が中心になりますので、どうしても減少する傾向があるものと押さえております。本市では、小学校は中休みと昼休みがありますが、中学校は休み時間が1回しかありませんので、体力を増強できる活動時間が少ないことも背景にあるのかなと思っておりますが、それは全国一律なので、本市だけの原因はつかみきれていないのが正直なところでございます。</p>
<p>(五十嵐教育長) その他、ございませんか。</p>

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、議案第6号は原案どおり決定いたしました。

6 報告・協議

報告第1号 令和2年度苫小牧市学校給食会会計予算(案)について

(第1学校給食共同調理場長) -令和2年度苫小牧市学校給食会会計予算(案)について説明-

(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

報告第2号 学校給食共同調理場の整備・運営について

(第1学校給食共同調理場長) -学校給食共同調理場の整備・運営について説明-

(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(佐藤委員) アレルギーを持っている児童生徒が多くなっているのですが、その対応といたしましては、牛乳と卵というのは伺っているのですが、その他にも何かありましたら教えていただきたいと思います。

(第1学校給食共同調理場長) アレルギー対応の関係でございますが、現在は第1学校給食共同調理場でしか調理できないということで、第1学校給食共同調理場で調理したものを第2学校給食共同調理場に配送してから、各校にお配りするという対応になっております。新しい第2学校給食共同調理場が完成した際には、両調理場に調理スペースができるという形になります。その際に、現在は卵に限定したアレルギー対応食となっておりますが、今後の予定としては、例えば卵、乳、小麦のように別々に何コースかつくる方法と、7大アレルゲンを一括で抜いた1つのコースをつかって対応するというのを各市で行っておりますので、その辺につきましては、今後調査して、どのようなアレルギーがどの程度いるのかを把握した中で拡大していく方針でございます。

(佐藤委員) 雑誌で、我がまちの給食というようなシリーズがありまして、その土地で採れたものを中心に給食を提供しているというのがあるのですが、苫小牧ではホッキカレーなどを新聞の記事で見かけるのですが、年間で計画というのは立てているのでしょうか。

(第1学校給食共同調理場長) 地場産物の活用ということで、先日、物資の購入委員会の方でお話しをいただきましたが、もやしと、しめじ等のきのこ類、ホッキについては出させていただいております、できるだけ多く使うようにしているのですが、実績では数パーセント程度でございます。本市は工業都市ということもあり、地場産物が

少ないというところでございます。

(五十嵐教育長) その他、ございませんか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

報告(3) 教職員の人事異動に係る内申について

(五十嵐教育長) 本件は人事案件でございますので、教育委員会会議規則第21条の規定により、秘密会としてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、報告第3号を秘密会とすることに決定いたしました。これより審議を行いたいと思いますので、関係者以外は退席をお願いいたします

(五十嵐教育長) それでは、委員会を再開いたします。なお、報告第3号につきましては、報告どおり終結いたしましたことを申し添えます。

7 その他

(五十嵐教育長) 次に、その他でございますが、事務局、委員の皆様を含めて、何かございますか。

(一同「なし」の声)

8 委員会閉会の宣言 (五十嵐教育長)・・・15時33分